

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午前】
部会名	小学校 道徳部会

1 提案テーマ 『よりよく生きる心を育てよう ～一つの教材を通して見えてきたもの～』

2 単元(題材) 「絵はがきと切手」

3 学年 第3、4学年

4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

① 児童が自ら課題に取り組み、他とのかかわりながら自ら考え生きようとする道徳教育の推進

5 学習指導要領との関連

第3章 道徳 第2 内容 [第3学年及び第4学年]

2 主として他の人とのかかわりに関すること (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。

6 実践に向けての課題意識

鎌倉市学校教育研究会道徳部会では、「よりよく生きる心を育てよう」というテーマのもと、研究を行っている。児童にとって、友達との関係は、日常生活において最も重要な関係の一つである。そこで道徳部会では、児童自身が相手の立場に立って考え、よりよい関係を築くためにはどうすればよいのかを話し合い、教材理解を深めてきた。児童が自分自身のこととして、問題を考えられるような資料や発問、教材や終末の工夫などを道徳部会で研究し、授業実践に生かしていきたいと考えた。

7 実践の概要

児童が自分自身を見つめ直し、多様な価値観を引き出していくことで、自分や相手の立場に立って考えを深めることができるのではないか。そのための資料を道徳部会で検討し合い、題材として「絵はがきと切手」という資料を選んだ。児童が自分の立場に立って考えられるように、意思表示カードや具体物を工夫し、実際に相手に送る返信の手紙を書く活動を取り入れることで、友達を傷つけないように思いやる気持ちを考えさせた。資料の活用の仕方や発問、友達との意見交流の工夫などを部会で検討しながら、三回の研究授業を行った。一つの教材を通して研究することで、資料への理解を深め、授業展開の工夫やそれによる児童の変容を研究した。また、研究授業者以外にも、同じ資料を用いて授業を行い、児童の様子や気づいたことを共有し、研究を深めていった。

8 成果と課題

〈成果〉

- ・自分の意思を表す際には、意思表示カードを用いて話し合いをすることで、自分の立場を明確にし、相手に自分の意見や考えを伝える手助けになった。様々な意見を出し合い、話し合いが深まり、多様な価値観に触れさせることができた。
- ・話し合うだけでなく、実際に資料の登場人物と同じ活動を行うことで、自分が登場人物の立場ならどうするだろうか、自分自身の問題として考えて取り組むことができた。
- ・資料に登場する情景を写真や絵で見せたり、板書を工夫して情報を整理したりすることで、児童が資料の流れや内容を理解しやすくなった。また、児童の興味関心に繋げることもできた。
- ・児童が多様な価値観に触れられるように、児童同士の意見交流の時間を多く確保する必要がある。児童が資料の内容を理解しやすいように工夫したり、その資料に関する事前授業を行ったりすることで、話し合いのための時間を確保することができた。
- ・資料のねらいを工夫することで、児童の多様な価値観を引き出し、「相手のことを思いやる気持ち」が大切であることに気付かせることができた。
- ・道徳部員同士で教材や資料を共有し、検討し合ったことで、児童の成果や課題、児童の考えを深めるための工夫の仕方を詳しく話し合うことができた。

〈課題〉

- ・児童が自分とは違った価値観に触れられるように、全体での共有時間を増やしたり、意見を交流し合ったりする時間をさらに確保できるように、授業展開を今後も考えていく必要がある。
- ・児童同士で意見交流を行ったことで、自身の考えを見つめ直し、意見を変更する児童の姿が見られた。児童の考えをさらに深めるために、「どうして自分の意見を変えることにしたのか」「どこで迷っているのか」と、児童の考えにもう一步踏み込めるような工夫を考えていく必要がある。

9 予想される協議の柱

- ・ねらいとする価値について自分自身の問題としてとらえ、自己を振り返らせるための授業展開の工夫。
- ・話し合いを深め、多様な価値観を引き出すための工夫。